

額が保証されていると認識しているが、制度の運用実態の把握は重要である。前回のアンケート調査から5年が経ち、改めて調査等を実施したいと考える。

②区分は、業務の習熟度等を賃金に反映するため必要である。区分を廃止すると、未熟練労働者の賃金が最低賃金に低下する可能性もあり、慎重に考える。

③拡充は、元請業者から労務台帳作成事務の負担が重い等の意見や費用計上の要望等もあるが、他区の情報収集と検討を進める。

**安全で快適な住まいの確保を**

【問】住宅改良助成は昨年度に続き、今年度も2カ月半で予算に達する勢いである。直ちに補正予算を組むべきでないか。

【建築】今年度の第1四半期で事業打ち切りとしないための緊急措置として、予算流用を行っている。今後の助成申請の状況を注視し、補正予算の必要性を検討していく。



**石綿飛散対策の強化を周知せよ**

【問】昨年の大気汚染防止法改正で石綿飛散対策が強化され、事業者の負担と工事金額も増えた。広く周知するとともに支援策を講じるべきではないか。

【環境】9月から区内工事関係業界団体を訪問して、周知する。また、利用しやすい区独自の助成制度創設の検討を進める。

**足立区議会立憲民主党**

今、時代の転換点。足立区もさらに次のビジョンへ！

立憲民主党 銀川 ゆい子 議員



**ジェンダー格差解消のために**

【問】収入や教育等の男女格差の解消や、DV等で苦しむ女性をゼロにする等、ジェンダー格差の根本的な解決のために、区長は何か必要だと考えるか。

【区長】幼稚園、保育園時代からジェンダー教育を大人が配慮していく必要がある。一度に全部の解消は無理でも、影響力のある立場の女性が、銀川議員も含め、徐々に世の中を変えていくように進めていくことが必要と考える。

【問】足立区の発展をとんでも嬉しく感じる。刑法犯認知件数の減少、大学誘致や大病院の新設等、区は着実に変化を遂げてきた。次のステージ、もう一歩先の足立区を期待しているが、区民以外にも憧れを抱くような次のビジョンについて見解を伺う。

【政策経営】区民の誇りを一層高めるためには、区外からの評価向上が重要である。第三次足立区シティプロモーション戦略方針に基づき、区の魅力等を戦略的・効果的に発信していく。

**足立区の今後のビジョンは**

【問】主要駅の歩行喫煙者数等は減少しているが、区長があたり広報で述べているように、タバコのポイ捨て等の苦情は後を絶たない。たった一人の歩行喫煙者

**歩行喫煙者をゼロに**

【問】主要駅の歩行喫煙者数等は減少しているが、区長があたり広報で述べているように、タバコのポイ捨て等の苦情は後を絶たない。たった一人の歩行喫煙者

用語解説

\*BYOD (Bring Your Own Device) : 個人が所有しているタブレット等を持ち込んで活用すること。

用語解説

\*CBT (Computer Based Testing) : コンピューターを使った試験方式。試験の全行程をコンピューターで行うため、主催者側の手間を大幅に省くことができる。

**足立区議会議会改革を全力で推し進める会**

あなたのためにモノ申す！ 預かった声で追求しました

議会改革推進 土屋 のりこ 議員



**マンションの地域防災力向上を**

【問】新築マンション計画にあたり、災害時の垂直避難等、災害協定を結ぶことへの理解を事業者から得られないならば、地域防災力の高いマンションを評価できる仕組みを作つてはどうか。

また、新築マンションの企画段階から地域防災を考慮したマンションを企画開発するよう働きかけてはどうか。

【建築】マンションと地域の連携・共助を進めることは重要であるため、地域防災力を評価できる仕組みづくりを研究する。また、区の窓口に事前相談が寄せられた時機を捉え、地域防災を考慮した企画開発を進めるよう働きかけに努める。

**小・中学校トイレに生理用品を**

【問】経済的事情で生理用品が買えない「生理の貧困」が社会的課題となっている。特に児童・生徒については学校が配る等して、解決していくことが必要と考える。他区で取り組みを始めたように、区内の小・中学校のトイレにも生理用品の常備を望むがどうか。

【学校運営】現在、小・中学校では保健室に必要な児童・生徒に配付している。これにより、生理の貧困に陥る家庭環境の早期把握を期待しているが、今後はトイレへの常備を、夏休み明けに実施できるよう準備する。



**児童職員の処遇改善を**

【問】児童職員の処遇について、放課後児童支援員キャリアアップ処遇改善事業だけでなく、放課後児童支援員等処遇改善等事業も、実施を検討してはどうか。

【地域】国の補助金の支給要件が午後6時半以降も開所してい

**無会派**

東京都で最も遅れたICT教育環境の早期改善を

無会派 へんみ 圭一 議員



**端末整備の遅れの挽回を**

【問】GIGAスクール構想に基づく、一人1台の端末整備が東京都の中で最も遅れている。足立区の子どもは教育機会が失われたが、どう挽回するのか。

【教育長】端末整備が完了次第、一人1台の環境を活かした授業等を積極的に展開していく。7月から順次家庭へのタブレットの持ち帰りに取り組み、活用機会を大幅に増やす等で、遅れを挽回していく。

【問】従来から提言してきたが、ICT教育は専門性が高い分野である。全国の自治体に後れを取った整備状況を見ても、担当部署を設置すべきではないか。

【教育指導】GIGAスクール構想に伴う環境の激変から、ICT教育を専門に扱う部署の必要性を痛感している。令和4年度の組織改正に向けて、新たな組織のあり方を検討していく。

**積極的に先進的手法の導入を**

【問】①BYODを導入する私立学校が増えており、都も検証している。区でも導入を検討すべきではないか。

【教育指導】現在、区内全小・中学校で「置き勉」を認めることを通知している。今後、タブレット端末との兼ね合いも含め、持ち帰る学習用具をさらに精選する必要があり、校長会の意見を聞きながら検討していく。

**子どもの負担軽減の対策を**



【問】タブレット端末を持ち帰ることにすると、小学校一年生でも約7kgのランドセルで通学することになる。成長期の子どもに無理な負担をかけぬよう、家庭学習で使わない教科書等は学校に置いて帰る「置き勉」を一層進めるべきだが、現在の状況と今後の方針を伺う。

【教育指導】現在、区内全小・中学校で「置き勉」を認めることを通知している。今後、タブレット端末との兼ね合いも含め、持ち帰る学習用具をさらに精選する必要があり、校長会の意見を聞きながら検討していく。